



新年の あいさつ



敦賀市長
河瀬一治

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は、本市にとって、敦賀長浜間鉄道開通130周年、欧亜国際連絡列車運行100周年、敦賀ウラジオストク定期航路開設110周年と、鉄道と港に関する記念の年となり、これに合わせ、「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会等をはじめとした関係機関が一丸となり、各種記念事業が開催されました。こうした取り組みを市民参画、市民協働によるまちづくりのモデルケースとして、今後も市民意識の醸成を図り、おもてなしの心に満ち溢れた賑わい創出につなげてまいりたいと考えております。

このような中、昨年6月には、昭和48年の整備新幹線計画決定以来の念願でありました北陸新幹線の敦賀までの県内着工が決定されました。

国内外の各地域をつなぐ交流拠点都市を目指している本市にとって、北陸新幹線は、今後の本市の発展を左右する広域交通網の一つであると考えております。

今後とも、開業時に向けて、永続的な賑わい創出につながるまちづくりを着実かつ積極的に推進してまいります。

また、昨年7月には、中池見湿地が、世界的に貴重な泥炭層と生物多様性の評価を得て、世界で2,057番目のラムサール条約湿地として登録されました。

今後は、ラムサール条約の精神にのっとり、中池見湿地を「世界に誇る敦賀の宝」として市民の皆さんと共に保全活動に一層取り組み、人々の交流・学習の場、更には本市の貴重な観光資源として活用してまいりたいと考えております。

さて、本市では、第6次敦賀市総合計画「世界をつなぐ港まち みんなで拓く交流拠点都市 敦賀」の實現に向け、新たなまちづくりに取り組んでいます。エネルギー政策の停滞により、地元経済等の冷え込みによる雇用の悪化が顕在化してきております。

このため、国に対して経済振興、雇用確保に向けた

施策を早急に講じるよう要請するとともに、本市においても、景気浮揚につながる施策をはじめ新規雇用確保を図るため、産業団地への新たな企業誘致等に全力で取り組みました。

今後も地元経済の活性化、雇用確保に向け、国、県と歩調を合わせながら対策を講じてまいります。

敦賀市の新しい未来は、市民の皆さん一人ひとりのお力添えがあつて、はじめて実現するものであります。どうか、今後とも、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、幸多い年でありますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成24年 敦賀市10大ニュース決定

10	福祉・教育の充実。 ○新和さみどり保育園、栗野子育て支援センター、杏見児童クラブが完成。 ○敦賀市教育委員会独自教育カリキュラム「敦賀スタンダード」完成及び「教育フェア」開催。
9	県内全ての原子力発電所が停止。
8	舞鶴若狭自動車道「敦賀南スマートIC（仮称）」の連結が許可される。
7	日本ゼオン(株)の新工場建設着工発表、(株)ナ・デックスプロダクツと産業団地分譲契約調印。
6	中国との定期航路が6年ぶりに復活。 敦賀港の2012年の年間国際コンテナ貨物取扱量が3年連続過去最高を記録。
5	敦賀―長浜間鉄道開通130周年などを記念した『つるが「鉄道と港」フェスティバル』等各種イベントの開催。
4	福井大学附属国際原子力工学研究所が完成。
3	衆議院総選挙で政権交代、福井3区は高木毅氏が5選。
2	中池見湿地がラムサール条約湿地に登録される。
1	北陸新幹線金沢・敦賀間が着工認可される。 JR敦賀駅のバリアフリー化工事が完了、こ線橋、エレベーター、エスカレーターの使用が開始